

1977年12月3日 第三種郵便物認可(毎月18回1・2・3・5・6・7の日発行)
2024年6月25日発行 通巻8438号 SSKP たこの木通信440号 付録

ねじり草

第183号



特定非営利法人 ねじり草
住所:多摩市永山 1-1-4 ルミエール 103 たこの木クラブ内
電話/FAX:042-389-1378

すいいち日記

すいいちの歌募集
 (列) すいーち すいーち
 すいーつ いっほーい うれいな
 うまいぼー うまいぼー
 リンゴと 目玉焼き
 どっちがすき? 月

すいいちソングをさい用士
 たんには、
 ベビスター ラム 1袋
 うまいぼー 1本
 プレゼント!
 しあきり 2024年12月2日

6/23 に
 「誰でもスペース発基地
 ゆうじや」
 ぶたこがきパーティー
 があるので
 2日とか

すいいちで
 言いたいこと
 伝えていた。

みんな行く人がたくさんいて。
 横田さんも行く? とさそわ
 れたので行くといいた
 けど、6/23 はたこの木の
 総会だった。ふた



すいじ日記

5月から片倉にあるA型事業所から
Eアリス事業所に変わりました

しかも就労B型でやっている

僕は週5日で労働している

A型事業所はまだ空きがない

ので移り行けない

決まり次第お知らせする

Eアリス事業所人が足りないので

よかったら働かせてみないか?

すい

【最近のすいいち企画】

岩橋 誠治

すいいち企画には様々な人たちがやってきます。誰でも参加できる場として毎週開いているのですが、本当に誰もが参加できる場にはなっていないという自覚はあります。

例えば、たこの木ひろばは和室と洋室の2DKのスペースです。玄関は一段上がっています。靴を脱いで上がります。そのため、こちらは気にしていなくても車いすに常時座っている人の参加は気が引けるでしょう。又、とても散らかっていて、いろんなものが場を占拠している所もあり、決してきれいとは言えない場だと思います。故に、片付いていないと落ち着かないという人は、足が遠のくでしょう。暴れて物を壊してしまう怖い人が参加しているなら参加したくないという人もいるでしょう。

誰にでも開いている場であることを常に意識しつつも、全ての人がこの場にやって来るという事ではないのだと思っています。

でも、なぜだか人が集まってくる。そして、他方では騒動ばかりを起こす人もここではなんとなく落ち着きなんでいる事もある。時に起こる騒動も、その日の出来事として過ぎていく事もある。

特に、何かを提供しているわけではないので、「何か楽しい事がある」と思って参加しても、実際は何もなく終了時間を迎えるも、「何も言われぬ」「何も求められない」そんな場を好む人もいます。

すいいち企画という場を「サードプレイス」と評価する人がいます。確かに、昨今日中活動等のサービスにおいては、「利用計画案」に基づき、事業所との「契約」を基に利用する場とはまるで違う。

以前、永山公民館の中にオープンしたレストと言う喫茶店に携わる精神障害当事者の方たちがたくさん参加していた時期がありました。特に誘ったわけではありませんが、同時期にオープンしたはらっぱ(現あしたや共働企画が運営するお店)でたこの木の情報を聞いた人たちが誘い合って来たようです。

世の中は「～でなければならぬ」という発想が、どんどん拡大しているように思います。そして、そこから逸脱する事に不安を抱き、「みんなと一緒に」「みんなと仲良く」するための同調圧力がどんどん増しているように感じます。

一方、そもそもすいいち企画が世間と逸脱しているが故に、それを心地よく思う人たちが集まっているのかもしれないともあります。

「みんなに笑顔で接すれば、みんなが笑顔で接してくれるよね」とある自閉症の当事者が言うので、「いやあ～。誰にでも笑顔で接することはできないし、岩橋さんを嫌っている人もいますよ」と返したことがあります。「誰が参加しても良い場所」という思いは抱きつつも、「誰が参加できていない」と自覚し、自分たちが万人に通じるものを築くというよりも、各地で制度等で縛られない場が生まれる事を願い、繋がる事で不足する我が身を補ってもらえるように努めていきたい。

そんな風に思いつつ、私としては参加してもらえたならだれでも歓迎したいという、行きつ戻りつの想いを抱きながらたこの木の片隅から関わっています。